

令和4年度 事業計画

< 法人 >

1 中長期経営計画に基づく経営基盤の安定

- (1) 法人組織統治に基づく経営マネジメントの徹底
- (2) 財務規律の強化と経費削減・事業所黒字化の徹底
- (3) 労務管理の強化と適正人員の確保
- (4) 内部管理体制の強化と法人組織の在り方検討
- (5) 法人BCP（事業継続計画）に基づくリスク管理の強化
- (6) ニューノーマル（新常态）における新たな価値観の創造

2 施設整備

- (1) 計画的な建物・設備の補修等及び経営管理の徹底

3 人材育成

- (1) 人材確保・育成・定着に向けた人事労務体制の強化
- (2) 研修機能の強化とプリセプター制度研修の徹底
- (3) 中間管理職の経営マネジメント力の向上
- (4) 各専門職のスキル向上及び多職種連携の強化

4 法人事務局体制の強化

- (1) 法人組織統治の強化と法令遵守の徹底
- (2) 経営企画室の充実と経営課題への対応強化
- (3) 財務・労務管理制度等の適正化と実践

5 選ばれる施設・選ばれる職場

- (1) 接遇・マナー力の向上
- (2) 特化するサービス等の研究及びエビデンスの構築
- (3) 地域・利用者・職員満足の追求と新しい取組みへの挑戦
- (4) 科学的介護の推進による中重度者介護・認知症介護及び個別ケアの質的充実

6 IT化推進

- (1) 法人ホームページ・SNS・外部広報の充実と説明責任の徹底
- (2) ICT（情報通信技術・福祉機器等）導入の検討及び適正な運用
- (3) DX（デジタルトランスフォーメーション）への対応の強化及び生産性の向上

7 みゆき会グループ、自治体、他関係機関との連携強化

- (1) 他法人及び異業種との連携強化と検証

8 社会福祉法人としての公益的取組の推進

- (1) 法24条及びSDGs（持続可能な開発目標）に掲げる目標を念頭に置いた地域における公益的な取組みの一層の推進
- (2) 防災拠点としての機能強化及び関係機関との連携強化
- (3) 地域支援・自主事業等の継続と新しい事業等の研究

< みずほの里 >

1 中長期経営計画に基づく経営基盤の安定

(1) 安定した利用者の確保

①稼働目標（一日当たり人数、介護度）

特養（地域密着型を含む）：97.1人/日（4.1） 短期：19.0人/日（2.5）

デイ（総合を含）：27.0人/日（1.9） 認知デイ：8.0人/日（2.5）

GH：17.8人/日（2.7） 居宅：介97件（2.4）・予防5件

②みずほの里とながすずの里の相談援助業務（利用調整等）一元化の推進

③BCPに基づく事業継続と持続可能性を高めるSDGsへの取り組み

(2) 経費節減、及び、適正なコスト管理（事業費15%、事務費12%以内）

(3) ながすずの里との協力体制の定着化と相互の運営改善

2 施設整備

(1) 計画的な建物の補修及び設備管理

(2) 介護ロボットの整備と有効活用

3 人材育成

(1) 課題取り組みの研究発表への転換

(2) コミュニケーションスキルの改善から職場作り・OJTへの展開

(3) 巡回指導と協働したプリセプター制度の充実（新人への適切なサポート）

(4) 他事業体との協働による介護実務者研修の試行

4 選ばれる施設・選ばれる職場

(1) 労働環境改善の工夫・検討（施設行事の見直し、カスタマーハラスメント対策、感染症対策、サポーター活用の体制整備等）

(2) 効果的なケアマネジメントの工夫（基本ケアの充実）

(3) ナースコール、介護ロボットの有効活用とケア環境の改善

(4) LIFEシステムの有効活用とケアの改善

5 IT化推進

(1) 介護ロボットの計画的な導入

(2) ホームページ・SNS・外部広報の充実

6 みゆき会グループ、自治体、他関係機関との連携強化

7 社会福祉法人（施設）としての公益的取組の推進

(1) 地域貢献事業の継続の工夫とモデル事業の取り組み（出前講座、ボランティア活動、地域住民・他施設との交流、教育研修事業、上山市ふれあい事業、ミニツアー、送迎支援等）

(2) 防犯・防災体制の改善への取り組み

(3) 利用者負担軽減事業・委託事業・喀痰吸引等研修事業の継続

< ひいな の 里 >

1 中長期経営計画に基づく経営基盤の安定

(1) 安定した利用者の確保（一日当たり人数、介護度）

長期：28.3人/日（4.0） 短期：19.8人/日（2.9）、
通所：21.4人/日（1.5） 認知デイ：8.6人/日（2.4）、
小多機：24.8人/日（2.3） 居宅：介護90人（2.5）・予防12人

(2) 経費節減 水道光熱費等の経費管理および消耗品等の在庫管理の徹底

(3) 事業所間の連携強化による利用者獲得

(4) BCP に基いたリスク管理による事業の継続

2 施設整備

(1) 建物・設備・什器備品等の計画的な点検や修繕計画の検討、実施

3 人材育成

(1) プリセプター制度による新入職員等の育成強化と人材の定着

(2) 外部研修の活用推進（認知症介護・各種資格取得）

(3) 多職種連携強化による各職種のスキル向上

(4) 施設内研修の充実

4 選ばれる施設・選ばれる職場

(1) 中重度者・認知症利用者に対する科学的介護の推進

(2) 各事業所における特色あるサービスの実施

(3) 接遇・マナー力の向上

(4) 地域連携強化のための新しい取組みの研究

5 IT化推進

(1) ホームページ・SNS を活用したサービスの特長のPRや情報の発信

(2) ICT（情報通信技術・福祉機器等）導入の検討と適正な運用

(3) DX（デジタルトランスフォーメーション）への対応の検討

6 みゆき会グループ、自治体、他関係機関との連携強化

(1) みゆき会グループ、自治体、地域民生委員、他事業所、公共機関、異業種等との連携

7 社会福祉法人（施設）としての公益的取組の推進

(1) 社会福祉法人利用者負担軽減制度事業の継続

(2) SDG s を念頭に置いた地域における公益的取組みの一層の推進と新たな取組みの研究

(3) 災害時における地域連携の推進

< ながすずの里 >

1 中長期経営計画に基づく経営基盤の安定

- (1) 安定した利用者の確保（一日あたり人数、介護度）
長期:28.4人/日(4.2) GH17.8人/日(2.7)
小多機:27.7人/日(1.9) 居宅介護95人(2.4)・予防7人
登録者数、待機者数の確保と空床期間の短縮化
- (2) 経費節減及び適正なコスト管理（事業費13%、事務費10%）
- (3) 事業所間の連携強化による事業所単体での黒字化
- (4) みずほの里との協力体制の定着化と相互の運営改善

2 施設整備

- (1) 経年劣化による建物の補修及び設備管理、計画的な点検・修繕計画の検討

3 人材育成

- (1) プリセプター制度の有効活用
- (2) 拠点間の連携による職員研修の充実
- (3) 介護キャリア段位取得者の養成
- (4) 施設内研修の充実
- (5) 外部研修の活用推進

4 選ばれる施設・選ばれる職場

- (1) 接遇・マナー力の向上
- (2) LIFE システムの有効活用とケアの改善
- (3) みずほの里との連携によるサービスの質の向上
- (4) 地域課題の抽出及び特化するサービス・地域連携の研究

5 IT化推進

- (1) ホームページ、SNS 及び外部広報を活用した情報の発信
- (2) DX(デジタル技術の浸透)推進に向けた介護記録端末機器の有効活用
- (3) ICT(情報通信技術・福祉機器等)導入の検討

6 みゆき会グループ、自治体、他関係機関との連携強化

- (1) 他介護保険事業所との連携強化
- (2) 自治体、関係機関、異業種との連携強化及び検証

7 社会福祉法人としての公益的取組の推進

- (1) 社会福祉法人利用者負担軽減制度事業の継続
- (2) 地域貢献及び支援活動の継続及び新たな取り組みの研究
- (3) 防犯・防災体制の改善への取り組み
- (4) かみのやまカフェ・出張カフェの新たな取り組みの検討
- (5) SDGs(持続可能な開発目標)に掲げる目標を念頭に、地域共生を図る取り組みの推進